

令和7年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月26日実施)	総合評価（3月26日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①確かな学力の育成に努め、質の高い学びを実現し、生徒が自らの個性・能力を伸張する高い意識を持って学習するカリキュラム・マネジメントを進める。</p> <p>②国際理解教育の推進及びグローバル人材の育成を図り、持続可能な社会の創り手として学び続ける自立した学習者を育成する。</p> <p>③学校行事や生徒会活動等においては生徒が主体的に取り組み、生徒中心の行事となる取組を促進し、他者に影響を与え、学校や社会に貢献できる人材を育成する。</p>	<p>①確かな学力の育成と質の高い学びを実現する。</p> <p>②生徒自らがグローバルな視点を持ち、持続可能な社会を作り出す意識を育めるような学びを推進していく。</p> <p>③学校行事等で生徒が主体的に取り組み、生徒中心の行事となる取組を促進するとともに、社会にも貢献できる人材を育成する。</p>	<p>①基礎学力の向上を目指し、教科内及び他教科と協働し授業実践を行う。</p> <p>②各科目等でテーマに沿った探究活動を推進し、生徒の向上心を育み、学びの振り返りをより高い目標に結びつけられるよう支援する。</p> <p>③学校行事や日々の生徒活動について、委員会やクラス係などが主体となって活動できるようにする。</p>	<p>①教科会を中心に授業改善の検討を進め、生徒の学力の向上に努めることができたか。</p> <p>②ICT等のツールを活用しながら生徒が主体的に探究学習をし、課題解決方法を考える学びを継続するサイクルづくりができたか。</p> <p>③諸活動について生徒主体の運営をし、次年度につながる体制が確立できたか。</p>					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの個性や実情に応じてそのニーズに応え、多様な可能性を延ばす支援体制の充実を図る。</p> <p>②困難を抱える生徒を支援につなぎ、誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた支援体制の構築を図る。</p> <p>③規範意識を養い、安全・安心な学校生活を保障し、自尊感情や自己効力感を高め、自他を尊重する心を育み、ウェルビーイングの実現を目指す。</p>	<p>①教育相談等の生徒支援体制に重点を置き、生徒の多様性に応え、生徒の可能性を伸ばす支援を行う。</p> <p>②困難を抱える生徒対し、困難の言語化・見える化を図る。生徒の社会的側面から生徒の背景にある困難に対し支援を図る。</p> <p>③規範意識を育成し、道徳的实践力を養う。自他を尊重する心を育み、自尊感情を養う。また、安心で安全な学校生活を送れるよう図る。</p>	<p>①日常より学校や家庭における困り感を相談しやすい体制を整え、信頼関係を構築する。</p> <p>②サポートドック等、困難を抱える生徒をSC・SSWと連携を図り、外部機関等に繋げる。</p> <p>③平穏な社会関係を形成するために自らの考えや方策を身に付け、互いの人格や権利を尊重し、義務や責任を果たせる力を育む。</p>	<p>①相談しやすい体制は整えられたか。生徒、保護者との信頼関係は築けたか。</p> <p>②サポートドックを有効活用できたか。SC・SSWとの連携や外部機関との連携は図れたか。</p> <p>③道徳的規範意識を育成できたか。人格や権利を守り、自尊感情を養えたか。問題行動を未然に防止できたか。</p>					

	視 点	4 年間の目標 (令和6年度策定)	1 年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月26日実施)	総合評価（3月26日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<p>①予測不可能な時代の中でも、活躍することのできる人材の育成を図る。</p> <p>②生徒自らのキャリア形成を意識できる進路活動の充実を図り、より高い進路目標設定が行える指導・支援を推進するための体制を構築する。</p> <p>③将来の自分のキャリアに責任を持ち、生涯にわたって学び続ける学習者としての基盤を培う。</p>	<p>①3年間を見通した進路支援体制を充実させ、主体的な学びに基づく進路活動ができるように支援する。</p> <p>②生徒が長い目で自らの進路を考えるとともに、より高い目標設定が行えるよう、情報提供や学習支援に努める。</p> <p>③広い視野を持ち、社会との関わりという観点で将来を考え、学びを深めていけるように意識付けを行う。</p>	<p>①進路行事等について、必要に応じて内容の改善を図り、生徒の主体的な進路活動を促す。</p> <p>②-1 多様化する進路活動に対応し必要な情報提供を行う。</p> <p>②-2 学習習慣の定着と学力向上に向けて、模擬試験、講習、資格試験等の有効活用を図る。</p> <p>③総合的な探究の時間を通して、社会の様々な分野に関する問題意識を喚起し、自らの進路と結びつけながら課題を解決する力の育成する。</p>	<p>①進路行事等の見直しや内容改善を行うことができたか。</p> <p>②-1 多様化する進路活動に対し必要な情報提供を行うことができたか。</p> <p>②-2 学習習慣の定着と学力向上に向けて、模擬試験、講習、資格試験等が有効活用できたか。</p> <p>③総合的な探究の時間を通して、生徒の問題意識を喚起し、課題解決能力を育成することができたか。</p>					
4	地域等との協働	<p>①地域・保護者等と連携・協働し、学校の教育力の向上を図るとともに、地域に親しまれる学校作りを進める。</p> <p>②コミュニティ・スクールの取組の推進により、地域の教育力の活用や産学協働体制の構築を図る。</p>	<p>①地域・保護者等と連携・協働し、学校の教育力の向上を図るとともに、地域に親しまれる学校づくりを進める。</p> <p>②コミュニティ・スクールの取組の推進により、地域の教育力の活用や産学協働体制の構築を図る。</p>	<p>①生徒が地域の行事や学校説明会等に積極的に参加し、生徒の様子や活動を知ってもらう機会を増やす。</p> <p>②地域の教育機関との交流の機会をもち、互いに学び合えるコミュニティーづくりを進める。</p>	<p>①生徒が行事などに参加する機会が増え、地域が本校の活動などを認知する機会が増加したか。</p> <p>②地域の教育機関との交流の機会をもち、キャリア活動が活発にできたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①校務におけるコンプライアンスの徹底と不祥事防止の徹底により、信頼に根ざした学校づくりを推進する。</p> <p>② 安心で快適な教育環境の整備のために、組織的・計画的な学校安全を推進し、激甚化・頻発化している自然災害や、事故・事件、犯罪などに備えて子どもたちが自らの安全を確保できる資質・能力を育成する。</p> <p>③働き方改革を一層促進するだけでなく、教師の個別最適な学びや協働的な学びを支える仕組みを構築し、教職員のウェルビーイングを図る。</p>	<p>①不祥事防止を徹底し、地域・保護者等から信頼される学校づくりを進める。</p> <p>②安心で快適な教育環境の整備のために、組織的・計画的な学校安全を推進し、激甚化・頻発化している自然災害や、事故・事件、犯罪などに備えて生徒たちが自らの安全を確保できる資質・能力を育成する。</p> <p>③各教職員が職務に責任と誇りを持ち、主体的に業務に取り組むことで、働き方改革の推進と教職員のウェルビーイングを図る。</p>	<p>①年間を通した計画的な不祥事防止研修に加え、外部講師を招いてワークショップ的な研修も行い、意識の醸成を図る。</p> <p>②-1 防災訓練、防災講話、D I G訓練等を地域と連携を図りながら実施する。</p> <p>②-2 保健体育科と連携を図り、授業の中で心肺蘇生法等を実施する。</p> <p>③個々の教員が一人で悩みを抱えることがないよう、個別の面談やコミュニケーションの機会を増やし、雰囲気の良い活気ある職場づくりを行う。</p>	<p>①計画的な不祥事防止研修、及びワークショップ的な研修を実施することができたか。</p> <p>②-1 地域と連携しながら、訓練講和等を実施し、防災に備える体制が構築できたか。</p> <p>②-2 心肺蘇生法を適正に実施し、生徒が適切な方法を学ぶことができたか。</p> <p>③個別の面談やコミュニケーションの機会が増え、教職員のウェルビーイングが図れたか。</p>					